

活水祭 (一般公開)

天候に恵まれた活水祭。9月6日(土)の一般公開はチャペルでのYWCAによる礼拝からスタートしました。

湯口隆司校長の活水祭開会宣言、生徒会によるオープニングセレモニー。続けてチャペルでは中高ハンドベル部による「情熱大陸」の演奏が華やかに行われ、活水祭への気分を盛り上げました。



前日のチャペルでのプレゼンテーション以外にも、第2日目(本日)には、高校1年と2年、中学を中心としてクラスや部活の催し物、展示、また自主制作ビデオ上映など盛りだくさんの出し物が出ました。飲食の販売は高校3年生のクラスが担当しました。特に音楽コースの生徒が多数を占めるクラスは、飲み物プラス、生の演奏で集客を伸ばしました。



カフェテリアでは家庭科による手作りデザートの販売に長蛇の列ができ盛況でした。大体育館でも飲食物はほとんど売り切れとなり、昼食時にはたくさんの来校者で埋まりました。



午後3時前の最後のステージでは、新体操部によるダンスが披露されました。毎年、部員に交じってダンス未経験の教員が「笑いを誘う」ことになるのですが、誰が出るのかその時まで未公開。ふたを開ければ、今年なんと英語科の川内吉田国分先生でした。登場とともに会場から大喝采が起きました。新体操部のすごさをさらに引き立てる教員のダンスは、毎年の楽しみとなっています。みなさんご苦労さま。



PTAおよび同窓会のみなさんも、朝からご苦労さまでした。明治期以来のバザーの趣旨は、今年もそのまま引き継がれています。生徒の教育活動の支援のため、たくさんの保護者が頑張ってくださいました。感謝いたします。